



# 大分労働局独自の取組

大分労働局及び各労働基準監督署では、自主的な安全衛生管理をより一層推進し、安全な職場環境を形成するため、下記の取組を展開しています。

## 経営トップの安全衛生に関する所信表明

トップの所信表明 大分



経営トップがその所信を表明することにより、労使双方が労働災害防止のための共通認識を持ち、一丸となって取り組むことが重要です。

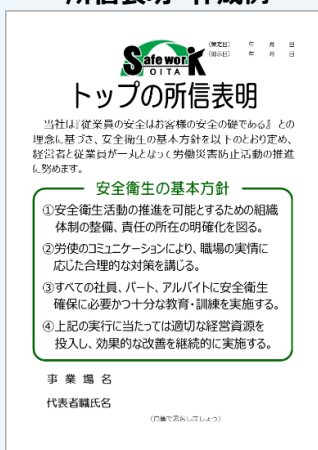
大分労働局管内の事業場において、実際に経営トップが行った所信表明を、同意を得た上で公表させていただいています。

ここにある所信表明を参考にしながら、さらなる労働災害防止、快適な職場環境の形成が図られることが期待されます。

特設ページ



所信表明 作成例



所信表明 様式



## 各建設現場 2 項目重点労働災害防止運動

2 項目重点労働災害防止運動



作業に応じて、守るべきものは多い。その中で「これだけは絶対に守るぞ」という目標を2つに絞り込む。

各建設現場において、自らが遵守すべき安全事項を協議し、特に遵守すべき2項目に絞り込み、毎日の朝礼等で唱和・指差呼称することで労働者の安全意識レベルを高め、安全作業の意思統一をするものです。本運動参加事業場は、企業名及び工事名称を公開しています。

掲示例

この現場は2項目重点労働災害防止運動に参加しています

これだけは絶対守るぞ！

- ① クレーン作業は「3・3・3運動」実施で安全確認を徹底する
- ② 名前で呼び合う掛け声運動の徹底で不安全行動を撲滅する

〇〇建設工業(株) 〇〇ビル新築工事

特設ページ



取組宣言提出表 様式



## 参加事業場は大分労働局ホームページで公開中

ホーム > 各種法令・制度・手続き > 安全衛生関係 > 法令・制度 > 職場の安全確保

提出先 大分労働局健康安全課 または 県内の各労働基準監督署(FAX可)

## 大分県建設機械シートベルト着用運動 ～建設機械でもシートベルト着用は常識です～

シートベルト着用運動 大分



建設機械の転倒・転落による死亡災害において、その大半は、オペレーターが運転席から投げ出され、その下敷きとなったものです。

近年製造された建設機械は、転倒時保護構造(ROPS)とシートベルトが装備されていることから、死亡災害の中にはシートベルトを着用していれば防げた事故も含まれています。

このようなことから、大分県では建設機械のシートベルト着用運動に取り組んでいます。

